

デジタルを活用した再就労等を目指す女性のための スキルアップ講座の実施【芦屋市】

個別事業費	46 千円
交付金額	23 千円

地域の実情と課題

本市の総人口は減少傾向であり、年少人口(0~14歳)は年々減少し、令和6年12月末では人口の約11.4%となっている。本市では、社会環境の変化に応じた就学前教育・保育施設の整備や子どもたちが放課後などを安全・安心に過ごせる居場所づくりなど仕事と子育てを両立できる環境整備を進めているが、令和3年実施の芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査では、希望に応じた働き方の実現や、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題であることがわかった。

事業の特徴

デジタルを活用した再就労・就業・起業等を目指す女性のために、必要なスキルアップに関する講座を、地域経済振興課や芦屋市商工会、ハローワーク西宮などと連携して開催し、相談にもつなげた。

事業の効果

受講者の満足度は高く、今後に活用できそうである、とのお声が多くあった一方で、もう一步踏み込んだ内容を希望されるかたもあり、内容の精査が必要である。また、学んだことを活かして起業・就労をされたかたもあり、一定の成果はあった。

目的・目標

受講者数の目標を15人以上としていたところ、受講者は40人（SNS活用講座24人、SNSショート動画作成講座16人）で目標を達成した。（申込者は47人）

いずれも定員を上回り、SNS活用講座は定員の2倍を超える申込があり、定員を増やした。）また、事後アンケートより、デジタルを活用して再就労した、または概ね1年以内に再就労などの予定と回答した女性は4人で、目標（目標値2人以上）を達成した

連携団体

芦屋市商工会、芦屋市地域経済振興課、ひょうご仕事と生活センター、兵庫県女性活躍推進センター、近隣各市の男女共同参画センター、ハローワーク西宮、日本政策金融公庫等

今後の課題

受講者間でデジタル活用のスキルに差が見受けられ、一律に受講者の理解度を深めることは困難であった。今後は、可能な限り、受講希望者の経験や理解度・スキルのレベルを揃えることに注力するため、申込時の質問項目を再考して、より受講者のレベルが揃えられるよう研究する。

事業の概要

